

## 基本とする目標

### 基本目標 1. 箱根町への新しいひとの流れをつくる

目 標	結 果	次期計画
<b>滞在人口数</b> 目標値：令和3年までに平日57,600人、休日80,000人 現状値：平日56,300人、休日78,600人(平成26年)	<b>滞在人口数</b> 現状値：平日32,149人、休日45,723人(平成30年)	未達成
<b>移住あっせん件数</b> 目標値：10件／年 現状値：－	<b>移住あっせん件数</b> 現状値：約20件／年	達成

### 基本目標 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

目 標	結 果	次期計画
<b>子どもがいる世帯数</b> 目標値：5年間で10%増 現状値：1,385世帯(平成22年)	<b>子どもがいる世帯数</b> : 現状値：令和2年度国政調査結果発表前	－
<b>人口構成の割合</b> 目標値：平成32年で年少人口7.4%・生産年齢人口56.3% 現状値：年少人口6.8%、生産年齢人口55.7%(平成32年社 人研推計)	<b>人口構成の割合</b> 現状値：年少人口6.8%、生産年齢人口56.1%(平成31年統 計はこね)	未達成

### 基本目標 3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

目 標	結 果	次期計画
<b>空き家の活用件数</b> 目標値：5年間で30件 現状値：－	<b>空き家の活用件数</b> 現状値：45件	達成
<b>多世代交流スペースの利用者数</b> 目標値：年間100人 現状値：－	<b>多世代交流スペースの利用者数</b> 現状値：約70人／年（令和2年度）	未達成

### 基本目標 4. 町内で安心して働けるようにする

目 標	結 果	次期計画
<b>新規就業者数</b> 目標値：5年間で1,500人 現状値：252.4人／年(平成19～23年平均値)	<b>新規就業者数</b> 現状値：数値根拠不明	－
<b>就業者のうち町内に居住する割合</b> 目標値：5年間で5%の増加 現状値：48.4%人(平成22年)	<b>就業者のうち町内に居住する割合</b> 現状値：令和2年度国政調査結果発表前	－

基本目標 1. 箱根町への新しいひとの流れをつくる

① 国際観光地としての魅力づくり

実施事業	実施内容	次期計画
1 国際観光プロモーション事業	箱根コンベンションビューローへ委託し、ベトナム及びオーストラリアでのセールスプロモーションを実施した。また、オーストラリアの旅行業者を招いてのFAMトリップも実施した。	継続
2 観光情報推進事業	観光案内所の管理運営や道路状況カメラ、芦ノ湖眺望カメラでの情報発信により、観光客の利便性向上を図った。 なお、町立湯本駅構内案内所については、民間事業者による案内所設置に伴い、廃止した。	継続
3 国際観光推進事業	総合観光案内所への英語スタッフ常駐に加え、中国語・韓国語スタッフも適宜配置するとともに12通貨対応の外貨両替機を導入した。また、多言語対応の観光マップ、箱根紹介冊子、外客向けイラストポストカードも作成するなどインバウンドの受入れ強化を図った。	継続
4 「国民保養温泉地」芦刈の里活性化事業	国民保養温泉地の指定に伴い、湿原復元や木道設置などを行ったほか、温泉入浴指導員の育成や温泉プログラムを実施し、芦之湯の活性を図った。	終了
5 箱根関所誘客宣伝事業	「箱根芦ノ湖“夢”劇場」は、新たな参加団体を増やし箱根・元箱根地区が一体となった組織の構築を進めることができ、活動内容も幅広く行えた。 また、この組織を柱に地域住民や事業者が参画した「箱根関所設置400年記念事業実行委員会」立ち上げ、箱根関所400年記念イベントを実施し、地域全体の誘客効果を高めることができた。	継続
6 Free Wi-Fi環境改善事業	日本全国で急速にWi-Fi環境の整備が進められ、当初運用していた箱根独自のWi-FiからJapan Connected-Wi-Fi（NTTが事業展開）へ移行することで、今まで利用不可であった空港や多くの鉄道会社、コンビニなどで利用可能となり、利便性が格段に向上したことから本事業は終了した。	終了

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
外国人観光客数 (万人)	73	108.3	114.7	103.8	—	—	—	100	
		平成30年度から推計ができなくなったもの。							
箱根元気プロジェクトにおける情報発信リサーチ数 (万人/年)	—		242	—	—	—	—	50	
		箱根元気プロジェクトは平成28年度に単年度の実施となったもの。							
Free Wi-Fi環境改善事業におけるアプリのダウンロード数 (件/年)	—	5,602	26,662	17,294	3,046	—	—	28,000	
		平成30年度で終了（Japan Connected-free Wi-Fiに移行）したもの。							

基本目標 1. 箱根町への新しいひとの流れをつくる

② 箱根ジオパーク等、地域資源を活用した魅力づくり

実施事業	実施内容	次期計画
1 箱根ジオパーク推進事業	GPS機能を利用した無料地図アプリ「ジオパークぶらり」を導入(平成27年度)し、現在地周辺のジオサイトや拠点施設への誘導を図った。 またジオサイトや地域の魅力を満喫してもらい、特産品などを紹介するジオツアー(令和2年度については新型コロナウイルス感染症を考慮し、オンラインによるジオツアー)を実施し、ジオパーク活動の普及啓発を行った。	継続
2 里地里山保全等促進事業	畑宿地域の里地里山保全事業に対して補助を行い、地域の活性化が図られた。活動団体員の高齢化や後継ぎが不在であることを理由に令和2年度をもって団体は解散し、本事業は終了した。	終了

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
ジオツアー等参加者 (人/年)	24,000	25,157	31,603	37,567	40,270	26,387	5,205	25,000	
		令和2年度はコロナの影響で実績が下がったが、それまでは順調に推移したものの。							

基本目標 1. 箱根町への新しいひとの流れをつくる

③ 県西地域活性化プロジェクトの推進

実施事業	実施内容	次期計画
1 県西地域活性化プロジェクト推進事業	はこじょ森林セラピープロジェクトと題して女性をターゲットにしたフォレストフィーリング、旅ウォークラン、旅フォトクラブなどのイベントを実施したほか、未病と箱根森林セラピー双方の新たな広報手段として未病への意識を高める健康管理手帳「はこじょ森林セラピー手帳」を作成した。	※
2 森林セラピー基地認定事業	「箱根芦ノ湖森林セラピー基地」として、箱根やすらぎの森の中心的施設である森のふれあい館を拠点とした、セラピーロードでの生理、心理実験の結果、基地の認定を受けることができた。	※
3 未病いやしの里づくり	総合保健福祉センターに健康測定器具等が利用できる未病コーナーを設置した。また森のふれあい館を森林セラピー基地として活用を図るため、内部の改修工事やウォークコースにおける樹木名を表示した。	※

※県西地域活性化プロジェクトの内容が変更されたため、実施事業も変更となるもの

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
森林セラピー基地の認定 (箇所)	0	1	-	-	-	-	-	1	
		平成27年度に基地の認定を受けたもの。							
はこじょ森林セラピープロジェクト参加者数 (延人数)	-	-	500	349	416	0	220	250	
		令和元年度は台風19号の影響によりイベントが中止となったもの。							

基本目標 1. 箱根町への新しいひとの流れをつくる

④ 若い世代への定住支援づくり

実施事業	実施内容	次期計画
1 若者世帯を対象とした住宅取得等への助成	若者の定住化を促進するため、平成28年度から住宅取得補助、民間家賃補助の制度開始を開始し、住宅費用の軽減を図った。	継続
2 持ち家促進事業	住宅取得に係る金融機関から借り入れた資金の利子や融資保証料の一部を補助していたが、上記補助金と重複するため令和2年度で終了した。	終了

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
若者世帯を対象とした住宅取得等への助成 (件/年)	—	—	1	2	4	3	5	2	
平成28年度から補助を開始し、順調に推移している。									

基本目標 1. 箱根町への新しいひとの流れをつくる

⑤ 地域内外に箱根ファンをつくる

実施事業	実施内容	次期計画
1 シティセールスの実施	町ホームページにスペシャルコンテンツの作成や移住パンフレットを作成・配布したほか、ふるさと回帰支援センターにおいて移住セミナー等に参加し、PRを実施した。	継続
2 SNS等を活用した情報発信	フェイスブックページ「箱根に住もう」を開始したほか、箱根に移住してきた方に箱根の生活をフェイスブックにて発信してもらい、その情報を集約するサイトを運用し、町内外に情報を発信した。	継続 ※
3 移住に関する窓口の設置	企画課で移住に関する相談をワンストップサービスで実施した。また、「ふるさと回帰支援センター」神奈川県相談員とも連携を密にし、民間移住支援団体と協力して移住相談を実施した。	継続 ※
4 お試し居住制度の創設	平成28年度からお試し居住制度を開始し、令和元年度からは空き家を改修し、移住体験施設兼交流施設として実施した。体験から移住に結び付くなど、効果が表れている。	継続 ※

※次期計画では④に移動

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
箱根町ホームページ スペシャルコンテンツ 閲覧数 (件/年)	15,000	-	476	8,990	8,447	5,993	9,038	20,000	
		情報の更新が有償で、最新の情報が発信できなかったため、閲覧数が伸びなかったもの。代替案としてSNSによる発信を行ったもの。							
お試し居住応募倍率 (倍/年)	-	-	6.3	2.2	3.6	2	7	5	
		平成28年度から実施し、目標値に及ばないが毎年度2倍以上の応募があり、令和2年度から応募が急増している。							

基本目標2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

① 出会いの場の創出

実施事業	実施内容	次期計画
1 民間団体等への支援、事業協力	平成29年、平成30年に出会いイベントを実施した若者コミュニティ団体に補助を実施し、若者の交流機会を創出した。令和元年以降は実施はないが、今後も民間団体と協力し、機会の創出を図る。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
出会いの場の創出事業を通じた成婚数 (組/年)	-	-	-	0	0	-	-	3	
平成29年度、平成30年度に実施したが、成婚まで至らなかった。									

基本目標2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

② マタニティに優しいまちづくり

実施事業	実施内容	次期計画
1 不妊・不育症治療費助成事業	不妊症や不育症の治療を受けている夫婦に対し、治療費の一部を助成した。	継続
2 母子保健活動推進事業	妊娠期から幼児期までの心身の健康管理及び安心して子育てができる土台作りを行うための母子保健を推進した。 継続事業をはじめ、令和2年度からは、新規に産婦健康診査及び新生児聴覚検査の費用助成を開始した。	継続
3 子育て支援センター等運営事業	少子化・核家族化に伴う育児不安の解消や育児支援を図るため、子育て支援センター・サロンを運営した。平成30年4月から宮城野子育てサロンを開始（宮城野保育園内）した。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
子育て支援センター、サロンの設置箇所数 (箇所)	2	2	2	2	3	3	3	3	
		平成30年4月から宮城野子育てサロンを開始した。							



基本目標2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

③ 子育て世代への負担の軽減

実施事業	実施内容	次期計画
1 小児医療費助成事業	0歳から中学校卒業までの医療費の自己負担額全額の助成を行い、児の保健の向上と小児家庭の生活の安定を支援した。	継続
2 ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭について、18歳の年度末まで（障害のある場合は20歳）の児と、保護者の医療費の自己負担額を全額補助し、児の保健の向上とひとり親家庭の生活の安定を支援した。	継続
3 出産祝い金の支給	第2子以降を出産する保護者に対して祝い金を支給し、出産初期における経済的負担の軽減を図った。	継続
4 子育て家庭応援事業	要保護児童対策地域協議会の運営と乳児家庭全戸訪問や養育支援訪問を通じて、子育て世帯の支援を行うとともに児童の虐待防止を図った。	継続
5 高等学校等通学費補助事業	町内・町外の高等学校等へ通学する生徒通学費を補助することにより、保護者の教育費負担の軽減を図った。	継続
6 保育料等の更なる負担軽減	令和元年10月からの幼児教育・保育無償化の国制度対象外世帯についても、対象を拡大し、保育料・給食費を完全無償化とし、保護者の経済的負担の軽減を図った。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
子育ての環境や支援への満足度（就学前児童の保護者）で“高い”“やや高い”と回答した割合（%）	32	—	—	—	28.9	—	30.2	+5	
※総合計画町民アンケートより（目標には達しなかったもの）									

基本目標 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

④ ICTを活用した園小中一貫教育等の実施

実施事業	実施内容	次期計画
1 ICTを活用した園小中一貫教育の実施	<p>TV会議サービスを利用し、教職員が場所を移動することなく、学校間で教職員同士の会議等を実施し、円滑に一貫教育を推進した。</p> <p>また、地域を学ぶことが本町の基幹産業である観光を学ぶことにつながるよう、学習コンテンツを作成したり、各学校の教職員等が構成員の観光学習推進プロジェクトを組織し、地域素材の教材化を検討した。</p>	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
TV会議を活用した授業、保育及び会議の回数 (回/月)	—	1	1	1	1	1	1	1	
TV会議を活用した会議を各校月1回程度実施したものの。									
観光学習を小学校5年生～中学校3年生で実施 (時間/年)	—	10	10	10	10	10	10	小学校10 中学校15	
各校年10時時間程度実施しているもの。									

基本目標 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

⑤ 箱根の特色を活かした教育の実施

実施事業	実施内容	次期計画
1 生きた英語教育事業	町立小・中学校に外国人講師を派遣し、英語科や総合的な学習の時間の授業等において生きた英語を学ぶとともに、英語技能測定を実施し、児童・生徒の英語力向上に努めた。	※
2 箱根ハートフルプログラム及び園小中一貫教育推進の支援	幼児期から中学校卒業まで12年間の発達段階に応じて、自尊心や自制心、共感力を育てるとともに共生する力を高めるための系統的な心の教育である「箱根ハートフルプログラム」に取り組み、園児・児童・生徒の豊かな人間性、社会性を育む教育を推進した。	継続

※事業は継続するが、次期戦略には載せない。

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
検定試験（GTEC for STUDENTS）の中学校3年生の成績（7割以上の得点者の％）	—	0	0	0	0	0	0	10	
当初の目標設定が高く、7割以上の得点者がいなかったもの。									

基本目標2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

⑥ 働く親への支援

実施事業	実施内容	次期計画
1 放課後児童クラブの拡充	令和2年10月から運営方法を公設民営化とし、放課後児童支援員等の安定的な確保や質の向上を図った。	継続
2 宮城野保育園建設事業	宮城野保育園建設事業を完了し、平成29年7月から新園舎での保育を開始した。	終了
3 保育機能の充実	認定こども園における休日保育や幼稚園における預かり保育を実施し、働く親や子ども達を支援する環境を整えた。	継続
4 夜間保育施設補助事業	夜間、保育に欠ける児童を保育する私設保育施設の運営を支援し、児童福祉の向上を図った。	終了

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
放課後児童クラブの定員数	48	86	86	86	86	86	88	86	
		目標値に達したもの。							

基本目標2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を行う

⑦ ワーク・ライフ・バランスの実現

実施事業	実施内容	次期計画
1 男女共同参画推進事業	男女共同参画推進プランに基づき、意識の啓発を図るため、町民及び職員を対象とした講演会を開催した。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
職場における男女の 平等感の割合 (%)	女27.6	-	-	-	-	女22.8	-	女40 男40	
	男22.1	※5年に1回の男女共同参画アンケートによるもの（目標には達しなかったもの）							

基本目標3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

① 空き家などの有効活用を図る

実施事業	実施内容	次期計画
1 空き家バンクの創設	宅建協会と協定を結び、空き家バンク制度を開始した。これまで50件以上の登録があり、利活用につながった。またそれに伴い、空き家リフォーム補助を開始し、空き家の利活用の促進を図った。	継続
2 空き公共施設や民間施設の有効活用	旧温泉幼稚園について、活用方法を住民等と検討し、社会福祉法人及び学校法人が活用することになった。 旧箱根観光物産館等の跡地利活用の検討の一環として平成30年度と令和2年度に実施したサウンディング調査において、民間事業者から起業支援の場を設ける提案もあったので、事業化にあたっては、その実現可能性についても検討する。 令和3年度には、仙石原地域の空き店舗利活用について、まちづくりの当事者となる人材発掘やまちづくりに関する意識の啓蒙を図るため、ワークショップや講演会を実施する。	継続
3 お試し居住制度の創設（再掲）	平成28年度からお試し居住制度を開始し、令和元年度からは空き家を改修し、移住体験施設兼交流施設として実施した。体験から移住に結び付くなど、効果が表れている。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
空き家バンクによる成約物件数（件）	—	—	0	11	5	8	10	30	
令和2年度に目標の合計30件に達したものの。									

基本目標3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

② まちづくりを行う町民や企業への支援

実施事業	実施内容	次期計画
1 景観まちづくり推進事業	<p>「箱根町景観計画」は平成21（2009）年に施行し、段階的な展開をしていたが、改めて計画内容や現在の状況を検証した結果、景観に対する意識醸成等が不十分であるため、再度取り組み期間や今後の推進方策を見直した。</p> <p>また、町民や事業者及び観光客の景観に対する意識高揚を図るため、町内の良好な景観形成に積極的に取り組む店舗を景観協力店に認定した。（令和2年度末現在15店舗、対平成28年度末比較+5件）このほか、協力店増を目的に、平成29年度から修景補助制度を立ち上げた。</p> <p>景観まちづくりをより多くの方に周知するため、従来のフェイスブックに加えインスタグラムを開設し、町民等の景観意識向上に取り組んだ。</p>	継続
2 まちづくりを行う団体等への支援や協力	<p>活力あるまちづくり支援事業として、補助制度を見直し、実施団体への補助を行い、地域コミュニティ活動を支援した。</p>	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
景観まちづくり協力店の認定 (件/年)	0	0	7	2	1	2	0	1	
協力店が認知され、順調に推移している。									

基本目標 3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

③ 生活利便性の向上を図る

実施事業	実施内容	次期計画
1 交通ネットワークの充実	平成28年度は通勤通学等の手段である路線バスについて、通行時間の拡張など交通事業者2社とそれぞれ協議を行った。令和元年度は交通事業者が主体となり、アプリによる複合経路検索等、Maasの実証実験を行い、交通利便性の向上に向けた可能性を検証した。	継続
2 コンビニエンスストアとの包括提携	セブンイレブン（町内8店舗）、ファミリーマート（町内2店舗）と広報誌の配架や子どもの見守りなどについて包括連携協定を結び、町民の生活利便性の向上を図った。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
包括提携したコンビニエンスストアの率（%）	—	0	0	53	67	67	67	80	
他のコンビニエンスストアとの協定に至らなかったもの。									



基本目標 3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

④ 世代間の交流を図る

実施事業	実施内容	次期計画
1 幼稚園、保育園等における高齢者との交流事業の実施	敬老会やはつらつスポーツ大会などの敬老イベントにおいて、幼児・園児と高齢者がふれあえる取組みを行い、世代間の支援の交流を図るとともに、高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。	継続
2 多世代交流スペースの設置	湯本小学校や箱根中学校に地域コミュニティルームを設置し、地域に開放したほか、箱根幼稚園において子育てサークルに活動場所を提供した。また、お試し居住滞在施設を交流施設として使用できるようにも改修し、お試し居住実施期間外で子育てサークルや移住者の交流会などを実施した。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
世代間交流事業 実施件数 (件/年)	5	2	2	2	2	2	0	5	
		実施件数は、敬老会、はつらつスポーツ大会実施における交流件数であり、それ以外に実施事業がなかったもの。							

基本目標 3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

⑤ 道路の効果的な維持管理や改良を行う

実施事業	実施内容	次期計画
1 町道整備・改良事業	計画対象路線及び橋りょう整備を計画的に実施した。 (平成27年度～令和2年度 9路線 6橋)	継続
2 道路後退用地整備事業	建築基準法第42条第2項に基づく道路に接した敷地に建築等を行う際に道路後退した場合や自主的に道路を広げるために後退する場合、後退線の測量・用地の買い取りや後退後の道路整備を行った。 (平成29～令和2年度：測量10件・用地購入4件)	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
町民アンケートにおける道路整備に関する満足度で、“満足”“ほぼ満足”と回答した割合 (%)	20.6	—	—	—	—	—	22.9	+5	
※総合計画町民アンケートより (目標には達しなかったもの)									

基本目標 3. 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

⑥ 公園機能の拡充を図る

実施事業	実施内容	次期計画
1 公園整備事業	町内公園施設の維持補修及び更新等を行い、公園利用者の利便性の確保に努めた。なお、仙石原公園については、平成30年度には幅広い年代が気軽に公園利用できるように健康遊具を設置するとともに、令和元年度には地元の小学生に遊具の選定をしてもらったうえで、複合遊具を設置するなど、公園の利用促進を図りつつ、公園機能の拡充を行った。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
町民アンケートにおける公園緑地の整備に関する満足度で、“満足”“ほぼ満足”と回答した割合（%）	29.5	—	—	—	—	—	32.9	+5	
※総合計画町民アンケートより（目標には達しなかったもの）									

基本目標4. 町内で安心して働けるようにする

① 町内企業への支援の実施

実施事業	実施内容	次期計画
1 設備投資に対する支援	観光関連事業者が事業性設備資金を借り入れるにあたり利子の一部を補助した。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、設備投資をする事業者が少なかったが、中小企業の事業活動に必要な資金の融資の促進、町内中小企業の健全な発展のためには継続する必要がある。	継続
2 中小企業者等アドバイザー派遣事業	中小企業者等の経営、労務、金融等について専門的知識または実務経験を有する者を派遣し、適切な指導、助言を行った。 アドバイザーを派遣することにより、中小企業者の経営の安定や活性化が図られた。	継続
3 要緊急安全確認大規模建築物耐震化補助事業	耐震改修促進法により耐震診断義務付けとなった大規模建築物について、耐震診断や耐震改修に要する経費に対して補助金を交付し、耐震化の促進を図った。 (平成29・30年度：改修補助各1件、自主改修も含め対象建築物の耐震改修全て終了、耐震改修補助対象施設残1件…取壊しを行ったが、改築未了のため)	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
設備投資等に対する 利子補給件数 (件/年)	10	11	11	10	6	4	0	12	
設備資金1千万以上の融資を受けた方が対象のため使用する事業者が少ない。新型コロナウイルス感染症の影響もあり設備投資をする事業者が少なかった。									

基本目標4. 町内で安心して働けるようにする

② 起業支援の実施

実施事業	実施内容	次期計画
1 起業セミナー等の開催	神奈川県、ハローワーク等からの求人情報等の案内を配架、掲示することで周知を図った。	継続
2 事業承継の支援	神奈川県等からの案内を配架、掲示することで周知を図った。また、近隣の市町、神奈川県事業承継・引継ぎ支援センター、商工会議所と連携し、事業引継ぎ支援を行う。	継続
3 空き公共施設や民間施設の有効活用（再掲）	旧温泉幼稚園について、活用方法を住民等と検討し、社会福祉法人及び学校法人が活用することになった。 旧箱根観光物産館等の跡地利活用の検討の一環として平成30年度と令和2年度に実施したサウンディング調査において、民間事業者から起業支援の場を設ける提案もあったので、事業化にあたっては、その実現可能性についても検討する。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
資金の確保から開業までのトータルな起業支援数 (件/年)	—	0	0	0	0	0	0	3	
		平成27年に発生した箱根山（大涌谷周辺）の噴火、令和元年に流行した新型コロナウイルス感染症のために事業者支援（融資）を主に行っていたため、起業支援への取り組みを進めることができなかった。							

基本目標4. 町内で安心して働けるようにする

③ 就職のための支援の実施

実施事業	実施内容	次期計画
1 就職に関する情報提供や相談業務の実施	神奈川県、ハローワーク等からの求人情報等の案内を配架、掲示することで周知を図った。	継続
2 就職セミナーの開催	新型コロナウイルス感染症の影響により雇用・就業に多大な影響が出ている中、令和2年度からは、箱根町の企業で働きたい求職者と採用意欲の高い町内事業者のマッチングの機会を創出するための企業説明会および面接会を神奈川県と共同で実施した。	継続
3 雇用確保支援事業	求人情報を広く提供するため、求人マッチングサイトを湯河原町と共同で設け、求職者また町内の事業所の人材不足解消を支援した。	継続
4 人材マッチング事業の実施	新型コロナウイルス感染症の影響により雇用・就業に多大な影響が出ている中、令和2年度からは、箱根町の企業で働きたい求職者と採用意欲の高い町内事業者のマッチングの機会を創出するための企業説明会および面接会を神奈川県と共同で実施した。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
就職セミナーやマッチング交流会への参加者数 (人/年)	-	0	0	0	0	0	10	50	
		平成27年に発生した箱根山（大涌谷周辺）の噴火、令和元年に流行した新型コロナウイルス感染症のために事業者支援（融資）を主に行っていたため、就職のための支援への取組みを進めることができなかった。							

基本目標 4. 町内で安心して働けるようにする

④ 後継者育成支援の実施

実施事業	実施内容	次期計画
1 観光産業等におけるお試し就業の実施		継続
2 箱根物産振興事業	地場産業の振興と伝統的工芸品に指定されている箱根寄木細工の伝統技術の保存等の事業に補助をした。 令和3年度からは、伝統工芸専用のホームページ及び紹介動画を作成し、町の公式情報として世界にPRすることで、様々な年代に魅力を理解し身近に感じてもらい、寄木細工について興味・関心を誘発し後継者問題の解決や、ブランド力の向上及びブランド確立を目指す。	継続
3 伝統文化継承事業	古典芸能の振興を図り後継者の育成のため、湯本芸能組合に対し補助を行った。 また、お座敷を気軽に体験できるように、割引クーポンである「お座敷券」を発行し、古典芸能の認知度向上を図った。	継続
4 若い世代の優良従業員の表彰の実施	商工従業員永年勤続者表彰及び優良従業員表彰を実施したことにより、町内の商工従業員の定着化と勤労意欲の高揚が図られた。	継続

KPI	現状値	実績値						目標値	次期計画
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
観光産業等における お試し就業者数 (人/年)		0	0	0	0	0	0	10	
		平成27年に発生した箱根山（大涌谷周辺）の噴火、令和元年に流行した新型コロナウイルス感染症のために事業者支援（融資）を主に行っていたため、後継者育成支援への取組みを進めることができなかった。							